

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、病院研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さんが、この研究のために患者さん本人の情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益になることはありません。

研究課題名	眼内レンズのハプティクス形状別に見た眼内レンズ偏位に与える影響因子の検討
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：川原 範夫
研究責任者	金沢医科大学病院 医療技術部 心身機能回復技術部門 視能訓練士 渋谷 恵理
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2026年 12月
研究参加拒否 申込受付期間	2026年11月30日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
対象者	2026年3月までに金沢医科大学病院の眼科で白内障手術を施行後、術後1か月と術後3か月に検査を受けた20歳以上を対象とします。
当該研究の意義・目的	IOLの支持部形状は術後のIOL偏位に影響を及ぼし、これが術後視機能に影響する可能性がある。そのため、IOL選択においては支持部形状のみならず、術前の水晶体偏位を考慮する必要性が示唆される。本研究は、術前水晶体偏位と術後IOL偏位との関連を検討することで、より適切なIOL選択の指標を明らかにすることを目的とする。
方法および研究で 利用する試料・情報について	電子カルテより年齢、性別、病歴、術前の眼軸長、水晶体偏位量と方向、水晶体赤道径、水晶体厚、前房深度、角膜横径(WTW)、術後1か月のIOL偏位量と方向を収集する。対象となるIOLはハプティクス形状がC-loop型、Plate型、Double C-loop型のIOLで最新の者から順に各例100例となるように収集する。統計解析は、EZR(version 4.2.2)を使用し、統計学的結果として $p < 0.05$ を有意差ありとする。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。集められたデータは学内規程に則り、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 眼科 視能訓練士 渋谷 恵理 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：(代表) 076-286-3511 内線 (27301)

作成日： 2026年3月17日